

公益社団法人 岐阜県建築士会 令和 5 年度第 3 回理事会議事録

日 時 令和 6 年 3 月 7 日 (木) 15 時 05 分～16 時 15 分
場 所 会議室参加形式：OKB ふれあい会館 展望レセプションルーム
岐阜市藪田南 5-14-53

Web 参加形式：Zoom を利用

出席者 理事 25 名中 20 名出席 (会議室：12 名・Web：8 名)

監事 2 名中 1 名出席 (会議室：1 名)

(出席理事) 石黒時紀(議長)、神山誠、狹場芳男、寺倉修、坂忠男、松井博幸(Web)、
田神康弘(Web)、伊縫誠一郎、村瀬賢一(Web)、堀江俊安、
安田光利、宇佐美泉、山田伸次(Web)、山田敬志(Web)
高木章、大塚則幸(Web)、渡邊正二、奥村公彦(Web)、阿部匡、
栗山知(Web)

(欠席理事) 長尾英樹、田原義哲、矢島達朗、高橋秀一、加藤幸治

(出席監事) 脇本敏雄

(欠席監事) 福野嘉彦 (R6.2 逝去)

※会議開始前に、Web 参加者の音声と画像が即時に他の参加者に伝わり、適時的確な意見
表明が互いにできる仕組みとなっており、出席者が一堂に会するのと同様の議論を行う
ことができる環境であることを出席者全員が確認している。

事務局 (渡邊専務理事)

令和 5 年度第 3 回理事会を開催いたします。

今回は会議室参加形式と Zoom を利用した Web 参加形式を併用して開催いたします。

出席者は、理事 25 名中会議室参加 12 名、Web 参加 8 名、合計 20 名出席、監事 1 名会
議室参加です。

会長挨拶

皆さんこんにちは、令和 5 年度第 3 回理事会にご出席いただきましてありがとうございます。
1 月 1 日の能登半島地震では大変な思いをされた方もみえるかと思えます。建築士会
においても応急危険度判定士の方々には派遣の準備等していただきました。また、1 年間、
いろいろな事業にご協力、ご支援等いただきましてありがとうございました。

訃報ですが、監事の福野嘉彦氏が 2 月 24 日にお亡くなりになりました。ご冥福をお祈り
いたします。

今年度の決算は当初より予測はしていましたが大幅な赤字となっています。来年度にむ
けての本格的な財政改革が大切だと改めて思っています。このことも含めて本日の慎重審
議をよろしくお願ひします。

事務局 (渡邊専務理事)

定款 35 条で定める理事の定数を満たしており、有効に成立しています。

理事会運営規則第 5 条により会長に議長をお願いします。

議事録署名者は定款第 36 条により会長及び監事をお願いします。

会長（議長）

審議事項が議題 1 から議題 8 まであります。議題 1 について、専務理事から説明をお願いします。

I. 議 事

議題 1 令和 6 年度事業計画（案）及び予算（案）について

渡邊専務理事より資料に基づき、事業計画（案）及び予算（案）について説明がある。

事業計画については、重点施策は昨年度と同じです。事業内容では、「⑩岐阜県ヘリテージマネージャーの育成及び保存修理スキルアップ講座を開催する。」を「⑩ぎふヘリテージマネージャーの活動への支援・協力」に変更、「⑬工業高校、専門学校等の学生を対象にした表彰」を「⑬県内の大学・高等専門学校・工業高校・専門学校等の学生を対象にした表彰」に変更、会員の福利増進に関する事業に「⑥「けんばい」等保険制度の加入促進」を追加する。

予算については、公益目的事業会計は、経常収益計 20,631,000 円、経常費用計 27,943,300 円、収益事業会計は、経常収益計 2,295,000 円、経常費用計 2,679,900 円、会員福利厚生・他団体連携事業は、経常収益計 5,876,000 円、経常費用計 5,862,400 円、法人会計は、経常収益計 12,232,000 円、経常費用計 9,264,400 円であり、合計で経常収益計 41,034,000 円、経常費用計 45,750,000 円となり、法人税等の 72,000 円を加えた 4,788,000 円の赤字となる。投資活動収支において財政調整資金積立資産等の 4,788,000 円の特定資産の取崩しを行い、職員退職金資金資産 210,000 円の積立をする予算となっている。

資金調達及び設備投資の見込はない旨説明がある。

石黒会長より、支部割当金は令和 5 年度予算では会費収入の 20%だったが令和 6 年度予算では 17.5%に削減しており、交通費等も削減している旨補足説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 2 令和 6 年度定時総会開催について

渡邊専務理事より資料に基づき、令和 6 年度定時総会について、6 月 7 日（金）午後 2 時からホテルグランヴェール岐山で開催する旨の説明がある。

また、役員改選のため、第 2 号議案に役員の選任についての議案がある、地域貢献活動基金助成事業完了報告については該当団体がいないため開催しない、懇親会費は令和 5 年度の 5,000 円から 6,000 円に変更したい旨説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 3 会員の入会の承認について

渡邊専務理事より資料に基づき、正会員 7 名の入会について説明がある。

総合資格キャンペーンで入会いただいた方は他にもみえるが、建築士登録をされた 5 名のみを記載している。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 4 会員資格の喪失について

渡邊専務理事より資料に基づき、正会員 19 名の退会による会員資格の喪失及び、正会員 3 名の死亡による退会について説明がある。

石黒会長より、退会者の中にお知り合いの方がみえたらお声がけいただくようお願いがある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 5 委員会委員の追加選任について

渡邊専務理事より資料に基づき、女性委員会 1 名、ぎふ木造塾部会 2 名の委員の追加選任について説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 6 木造建築設計研修会の業務受託について

渡邊専務理事より資料に基づき、岐阜県県産材流通課から依頼があった、木造建築設計研修会の業務受託について説明がある。

受託事業の流れとしては、岐阜県から県木連、県木連から岐阜県建築士会への受託であり、木造建築設計研修会を年 4 回開催するための企画、運営等の内容で、現在実施しているぎふ木造塾に今回の事業内容を加えて実施することも可能である。

神山副会長から、ぎふ木造塾で 2 回、青年委員会建築文化講演会で 1 回、事業研修委員会で 1 回の実施を検討している旨の補足説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 7 団体役員賠償責任保険の更新について(2024 年 12 月 1 日～2025 年 12 月 1 日分)

渡邊専務理事より資料に基づき、団体役員賠償責任保険については 2024 年 12 月の更新時に保険の更新をしたい旨の説明がある。

議長は、理事会に諮ったところ賛成多数で承認された。

議題 8 その他

なし

II. 報告事項

報告 1 令和 5 年度事業報告及び決算見込みについて

渡邊専務理事より資料に基づき、令和 5 年度事業報告及び決算見込みについて説明がある。

決算見込みについては、事業活動収入計が 32,749,862 円、事業活動支出計が 33,829,715 円、事業活動収支差額が 1,079,853 円の赤字となる。財政調整資金積立資産から 2,200,000 円、地域貢献基金預金から 109,000 円、担い手育成事業積立金から 1,000,000 円、合計 3,309,000 円の取崩しを行い、職員退職金積立資産に 100,000 円の積立を行い、当期収支差額は 2,129,147 円となる見込みである。ここから支部の事業費見込額として、令和 5 年度本部振込額 3,621,000 円、令和 4 年度末の支部繰越金 7,164,234 円を差し引きし、本部と支部を合わせた当期収支差額が 8,656,087 円の赤字の見込みであり、次期繰越収支差額を 1,163,038 円見込んでいる。支部の事業費見込額については各支部の手持資金を全額支出した場合の見込みとなっており支部の支出金額によって変わってくる。

石黒会長より、監理技術者講習については岐阜県では受講者が 4 名であり全国的にも少ない状況で、連合会からは各県 10 名程度受講者を増やすよう要請があった旨報告がある。

報告 2 業務執行理事からの報告について

田神岐阜支部理事、安田西濃支部長、山田中濃支部長、山田東濃支部長、高木中津川支部長、大塚飛騨支部長より資料に基づき、支部の活動報告がある。

寺倉副会長より資料に基づき、総務委員会、まちづくり委員会の活動報告がある。

坂副会長より資料に基づき、情報・広報委員会、建築士試験担当委員会の活動報告がある。

神山副会長より資料に基づき、事業研修委員会、青年委員会、会員増強特別委員会の活動報告がある。

狭場副会長より資料に基づき、女性委員会、地域貢献活動委員会の活動報告がある。

報告 3 その他

石黒会長より、次回の理事会を 5 月 9 日（木）に開催する予定である旨説明がある。

脇本監事より、支部や委員会の活動報告を受けて、非常に活発に活動していただいている印象がある。1 年通して課題となっている会員の減少については新規会員の募集や退会防止が重要となってくるが、それには特効薬はなく支部活動や委員会活動を通じて魅力を発信していくことが新規会員の募集に繋がると考える。以前報告があった委員会への出席率が悪い点について、各支部においては委員会への参加を促していただいて、来年度、建築士会

をさらに盛り上げていただきたいと発言がある。

石黒会長より、脇本監事の発言のとおり支部、委員会の活動の活性化が会員増強に繋がる、さらに来年度は財政の健全化が必須となっている。来年度 1 年を通して総務委員会において財政健全化に向けて検討していただきたいと発言がある。

以上をもって、本日の議事は全て終了したので議長は閉会を宣して、午後 4 時 15 分に散会した。

上記決議を明確にするため本議事録を作成し、出席した会長及び監事が次に記名捺印する。

令和 6 年 3 月 7 日

公益社団法人 岐阜県建築士会

議 長 印

監 事 印